

α FLOWER COMICS α
flowers フラワーコミックスアルファ

姉の結婚

一



オトナ女子読書会レポート
& 第1話無料お試し読み

西炯子

さて、まずは今回の読書会のお供たちをばご紹介。



みたらし団子、草餅、ごま団子。渋谷のデパ地下で購入。



和牛肉まん。できたてほかほかです。



夏にぴったり、さわやかなフルーツゼリーたち。



おいしいものを思う存分食べながらの読書会。これぞオトナの贅沢ってやつです。

「今日は排卵期ですか？」

イケメン精神科医・真木からの奇妙で情熱的なアプローチに心揺れる三十路独身女性・ヨリ。

これは恋慕なのか、実験なのか、それとも一。

「甥の一生」で大人気を博した西炯子、またもや恋愛マンガの新境地を拓く！

<あらすじ>

「結婚とか恋愛とかは、もう、いいや...」—そう思い、女ひとりで静かな生活を送るため、故郷に戻ってきたアラフォーの岩谷ヨリ。そんな彼女のことを妹・留意子はとても心配している。だがヨリは、勤務先の図書館で出会った超イケメン&強引な男・真木誠と何やらややこしい関係がはじまってしまい...！？
鬼才・西炯子が贈るオトナの男女のための不器用系恋愛バイブル、第一巻！

<登場人物紹介>

岩谷ヨリ（いわたに・より）

中崎県立図書館勤務の、39歳独身。3年前まで東京で働いていたが、アラフォーになり、地元に戻ってきた。
恋愛や結婚には期待せずにマイペースな生活を送るヨリだったが、かつてのクラスメイトである精神科医・真木からなかば強引に関係を求められ、困惑する。

岩谷留意子（いわたに・るいこ）

ヨリの妹。無邪気でしたたかな、ヨリとは正反対の性格をもった女の子。

真木誠（まき・まこと）

ヨリの中学時代の同級生。当時は色白で太った容姿から目立たなかったが、美貌の精神科医となって再びヨリの前に現れた。

真木理絵（まき・りえ）

真木の妻。誠以外の男性とも関係を持っているが、隠す素振りを見せない。ヨリにそっくりの顔をもつ。

では、読書会、スタートです！

(※読書会レポートの後に、[第1話無料オタメシ読み](#)があります)



▲漫画にかじりつくオトナ女子たち。

まい子「みんなそれぞれ、何か気になった台詞とかシーンがあったら、教えてくれる？」

しましま「そーだなー。最初の方でまずひっかかったのは、『負け犬なんて言ってもらってるうちはまだ花だ』っていう台詞かな。新しい台詞だなと思った。侮辱されてる言葉のはずなのに、それすら花って、どういう意味なんだろうと。その後、さらっと老眼鏡掛けるのもいいね」



▲主人公・ヨリ。「ヒルー」っていうコマが、のん気で良いですね。

くみ「気になった台詞ってわけじゃないけど、ヨリが、真木に図書館でチューされるシーン。これが単純に羨ましかった」

「わかる！！！」（一同爆笑）



▲ところで、指の関節ってエロいですよね。

雅美「うん。うん。こんなの一生ないよ～。うらやましい～」

神谷「でもこれ、イケメンじゃないと犯罪だね。」



▲あぐらをかいて批評家モード。

くみ「私は、やることやって朝になったシーンが気になったかな。この時のヨリの口の悪さといったら。

ここだけオトコっぽい口調になるよね。ここでしかこういう口調にならない。強がってる感というか、割り切りたい感が見える」

佐藤「あー、なるほど！気づかなかった」

神谷「たしかに、ここだけ口悪いよね。自分に色々言い聞かせてんのかねー」

しましま「あと、真木が、ヨリと妻に遭遇するシーンが印象的だった。梅干し持って立ってる。梅干の垂れ幕のしわが、集中線みたいになってるね」

まい子「しぶいね」



▲緊張感あるシーンのはずなのに、手には梅干って。

まい子「そうそう、ヨリと真木の妻は顔がそっくりなんだよね。」

くみ「それって、顔で奥さん選んだってこと？」

神谷「え——！」

まい子「みんなは、今まで、同じタイプの人を好きになったことある？」

しましま「同じような人を好きになることはないけど、知り合いに、同じタイプの顔の女の子と続けてつきあってた人がいる」

雅美「うちの旦那は、150センチ以下で、絶対おかっぱの子を好きになるよ」

佐藤「ほおお...」

まい子「男の人の方が、そういうのってあるのかねえ？外見重視？」



▲ムフムフしながら漫画読んでます。

しましま「ところでさあ...真木って、自分でしまくるよね（笑）」

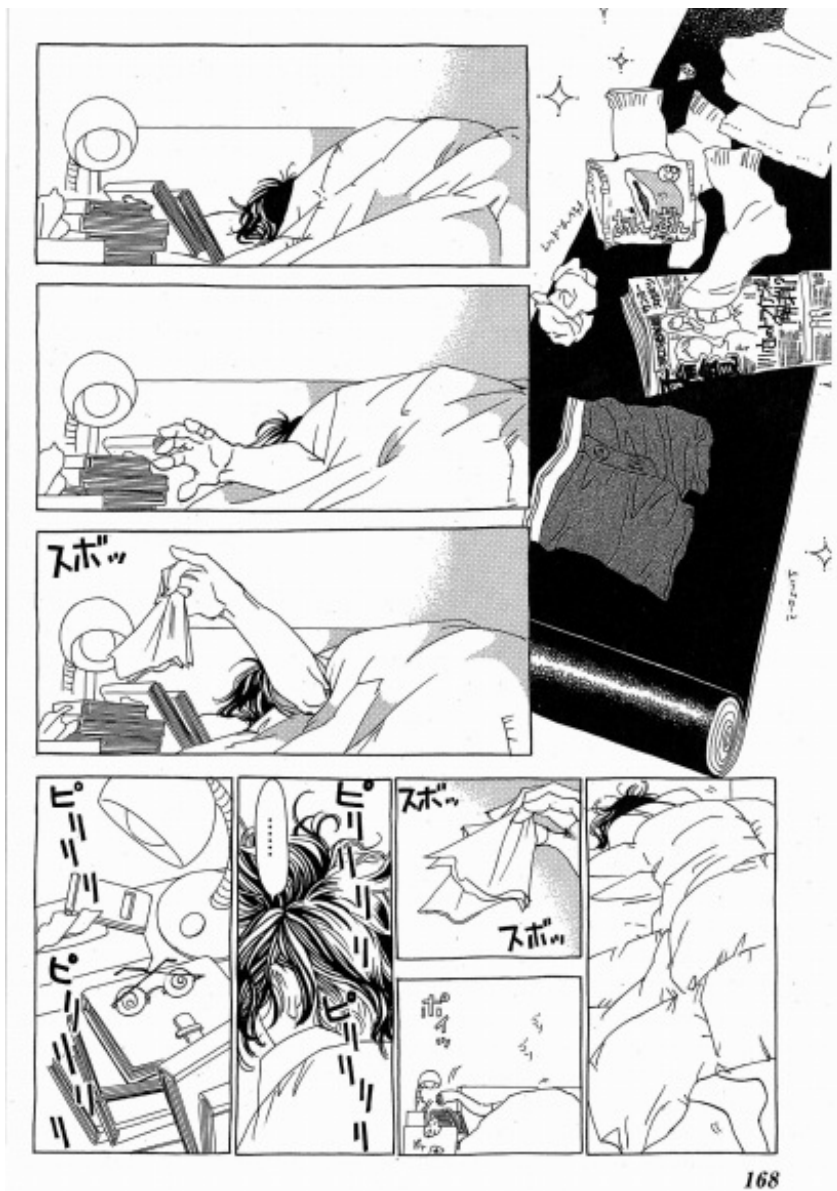
雅美「1巻の中で、4回くらい見た気がする（笑）」

くみ「えっ！！4回も！？」

佐藤「1，2回だと思ってた」

雅美「いやいや」

まい子「たしかにシャワーのシーンで、矢印あったり、肩が動いたりしてる。次のページで”はあっ”って言ってるのは、そういうことなのか...」



▲少女漫画史上、こんなにry

まい子「一方で、ぽつぽつ、純情だった昔のエピソードがはさまってくるよね」

神谷「135ページ、ポーク（真木）がヨリのためにお花を摘みにいって、戻ってきたらいなくなってたというエピソードが気になる。ここでお花を渡せてたら違ってたかもしれない。みんなそういう思い出ってある？」



▲純粹だった、あの頃。

雅美「私は、保育園の時に、男の子に蝉をプレゼントされたことある。で、同じ子に、小学校の時、ラブレターをもらった。中学校は一緒だったけど自然消滅」

しましま「もしかしてその子、精神科医になって雅美の前に現れるかもね...！（笑）」

佐藤「真木は、ヨリに昔の事を思い出して欲しいのかな、なんなのかな。何をきっかけに、ポークからイケメンに変わったんだろう...」



▲ポークから、イケメンへと。

神谷「真木の、『排卵期ですか?』という台詞、強烈だよね。唐突すぎて私には理解できなかった」

しましま「唐突すぎるのを承知で、簡単に引き受けちゃうよね、ヨリも」

雅美「40手前なのに」

佐藤「40手前だからこそ?」

くみ「急にやることになったのに、パンツとか気にしないのかな」

佐藤「や、そういうこと気にするのって、返って恥ずかしいような...」

神谷「だんだんパンツとか脇毛とか気にしなくなるよね」

一同「！」

くみ「それは何回もしてるからでしょ！」

神谷「や、意外と脇毛もちょっと伸びてるくらいが...むしろ...」

ロベ（男性。ここだけ会話に参加）「脇毛は、そっといた方がいいと思う...」



▲衝撃の台詞。そしてここでものん気な「アサ...」のコマが。HOTELの名前も気になる。

神谷「ヨリは、淋しくないけど、アウェイ感は感じてるかもね。故郷だけアウェイ感」

佐藤「妹に対しての反感があるよね。女の子っぽい妹とは、相容れない。もともと家族とは分かり合えないってことを、小さい頃から自覚してるっぽい」

くみ「でも妹がかわいいなら、ヨリは美人なんでしょ。意外に収入もありそうだし。がんばって見たらいいのに～」

雅美「図書館司書って公務員だからそれなりに給料もらってそう！」

くみ「やっぱ、何かトラウマあるのかな、男性に」

神谷「不倫かなー」

くみ「そうなのかなー」



▲「大人って、大変ねー」

佐藤「あと、作者の萌ポイントなのかなあ？ヨリみたいな女性って。自分に無頓着で、冷静けどぐだぐだ悩んだりもする妙齡の知的グラマー美人が、常識とか理性を踏み外しそうになる危うさ、というか。『甥の一生』の主人公もそんな感じだったような...」

まい子「あー」

神谷「そういえば、一番ドキッとした台詞思い出した。真木の、”あなたのために死んでもいいという男はこれまでいなかった。それはあなたが誰のことも死ぬほどに愛さなかったからだ”という台詞」

佐藤「そこは私もドキっとしたー」



▲すべてを見透かすような真木のまなざしに、ドキッ。

しましま「あと、目次がちょっと古くてオヤジくさくて面白い。 ああ、無糖とか、志村、うしろうしろ、とかw」

一同「w」

休日の午後の昼下がり、こうしてオトナ女子たちの会話はとめどなく続くのでした。



▲おなかいっぱい、しあわせ。

☆おまけトーク☆
『姉の結婚』を実写化するなら？

■真木誠役



▲甘いマスク＋変態風味の精神科医・真木。

くみ「福山雅治はない」

神谷「堤真一。変態キャラが似合う」

しましま「リリー・フランキー」

佐藤「松田翔太」

雅美「西島秀俊」

一同「いいね！！」

まい子「堺雅人とか、**ARATA**も捨てがたい」

■岩谷ヨリ役



▲現実主義者のヨリ。ちょっと地味だけど、どこかセクシーでもある。

くみ「仲間由紀恵。ちょっと華がありすぎるか」

雅美「松雪泰子。あ、奥さん役の方が合うかな」

まい子「松島菜々子。...うーん、不幸そうじゃないな。竹内結子とか」

くみ「エドはるみ」

まい子「ちょっと行き過ぎ」

しましま「木村多江」

佐藤「あ——！ ぽいぽい」

雅美「深津絵里」

まい子「ふむふむ。うーん、私的にはやっぱり竹内結子なんだけど」

※是非、実写化をお願いします！

★★★次のページから第一話がおためし読みできます！！★★★

flowersフラワーコミックスα

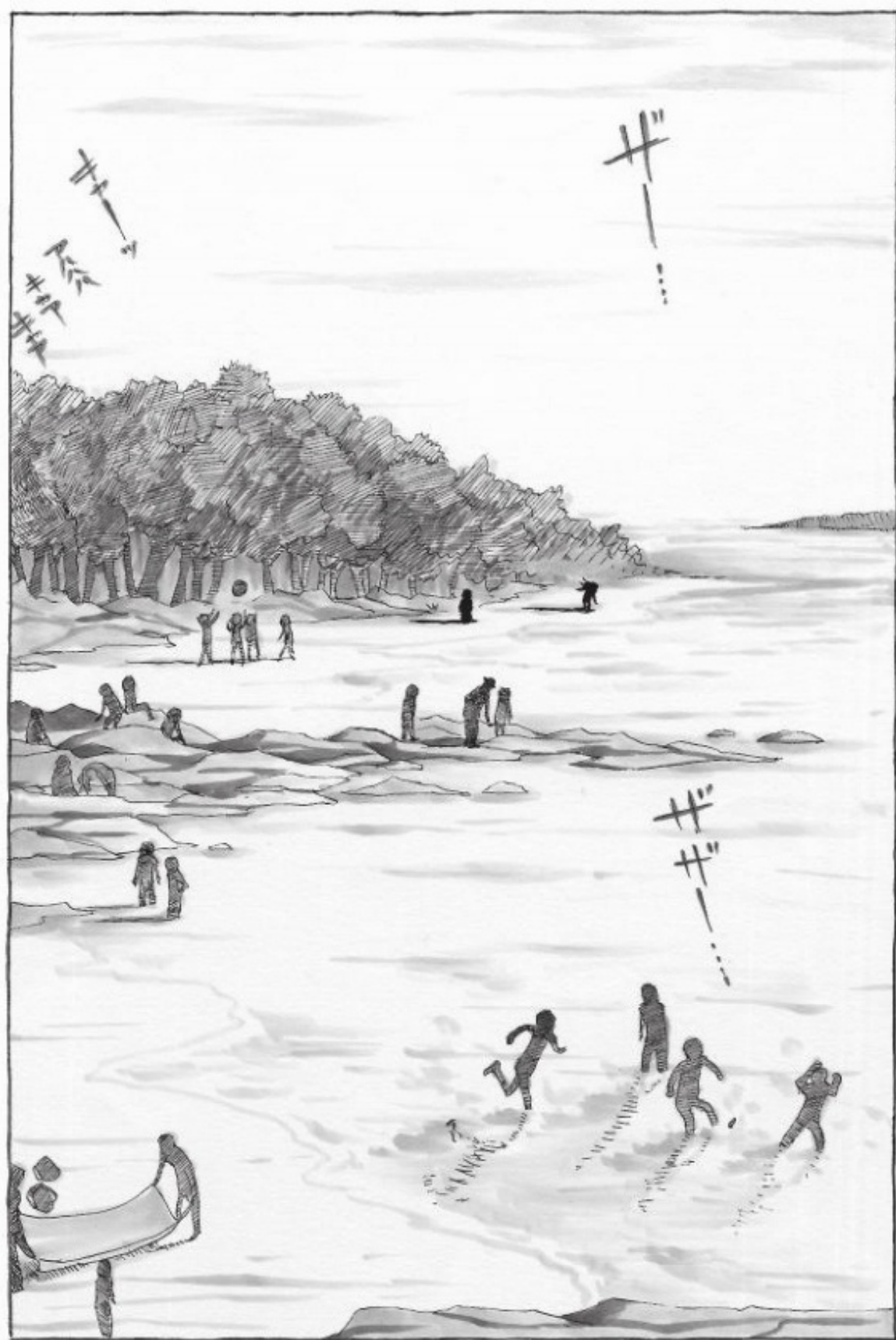
姉の結婚

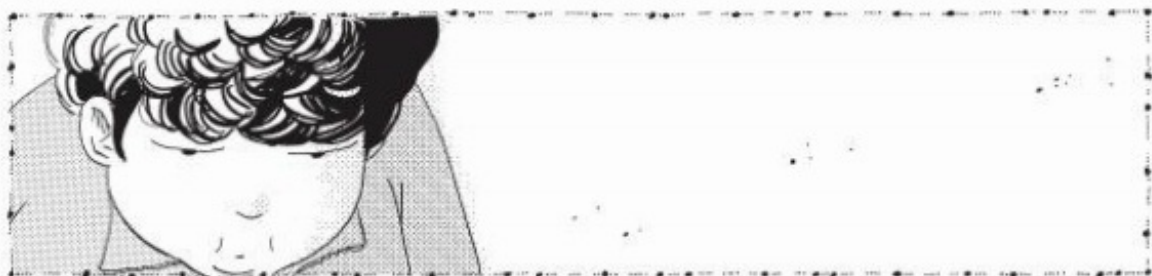
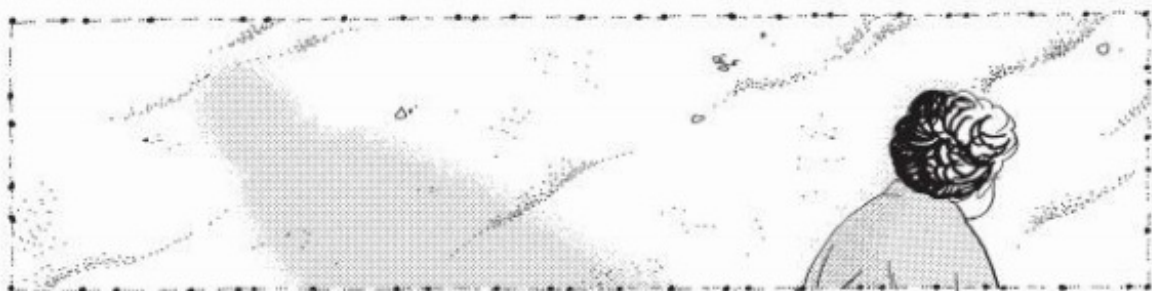
西 炯子

ピース
piece.1

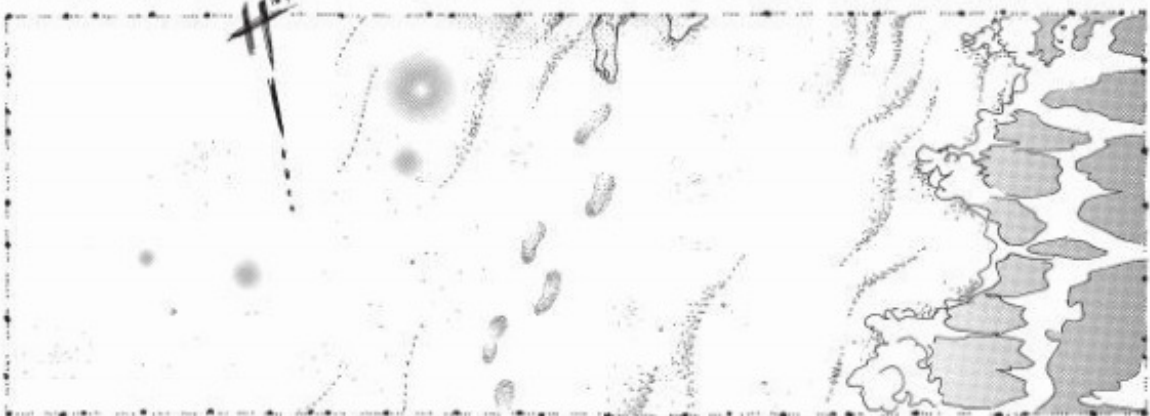
おんな
女をやめる時
とき

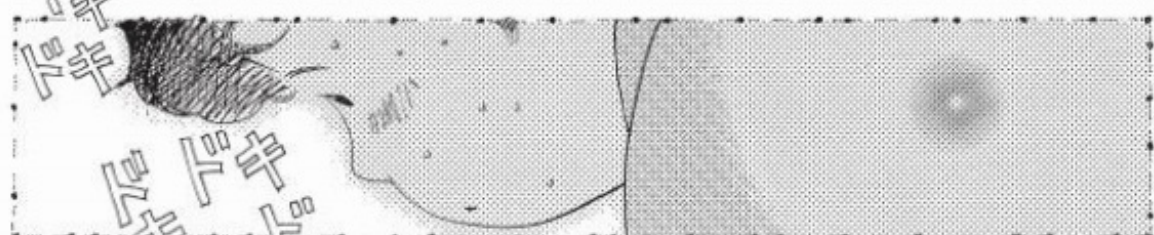
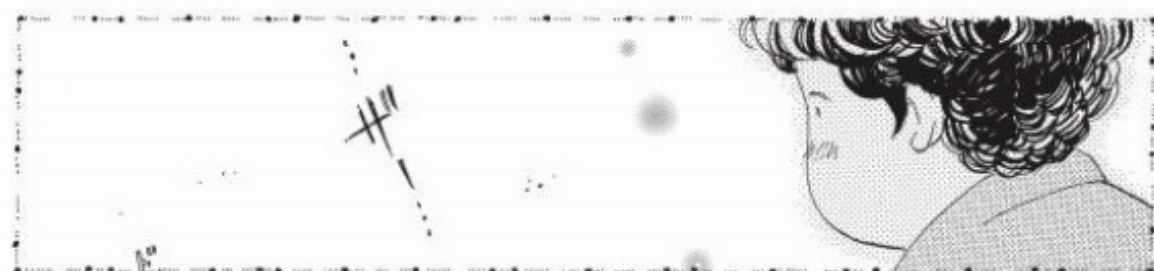




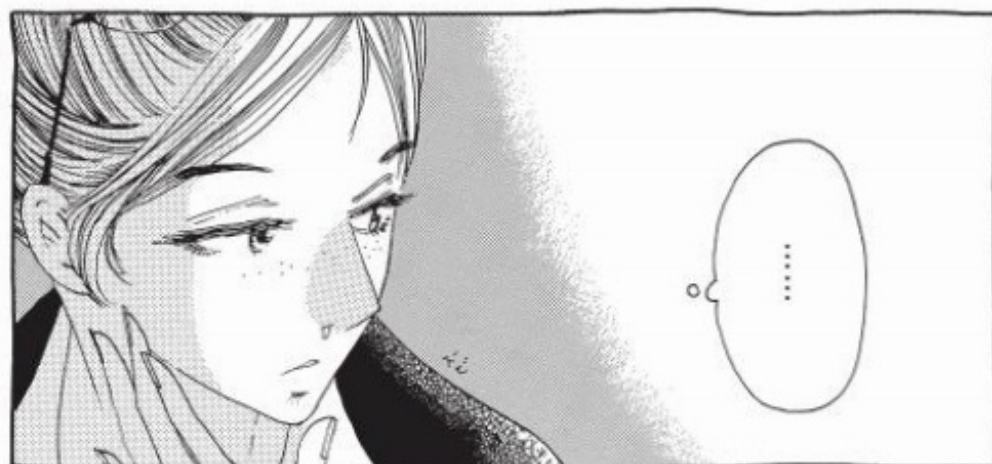












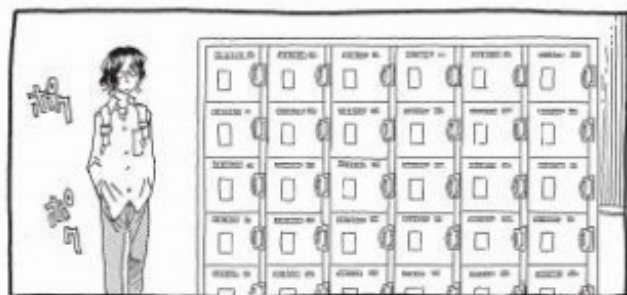
姉の結婚①



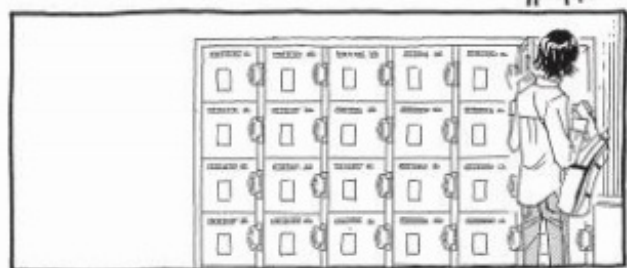


姉の結婚①





かき







…いろいろ考えての
帰郷だったけど…

…ここで老いるのは
…悪くない

静かで穏やかな
…ブチ老後かな

もう何も
起こるまい…と



…わっ!!

バン!

きやーっ!!



だっ誰
何

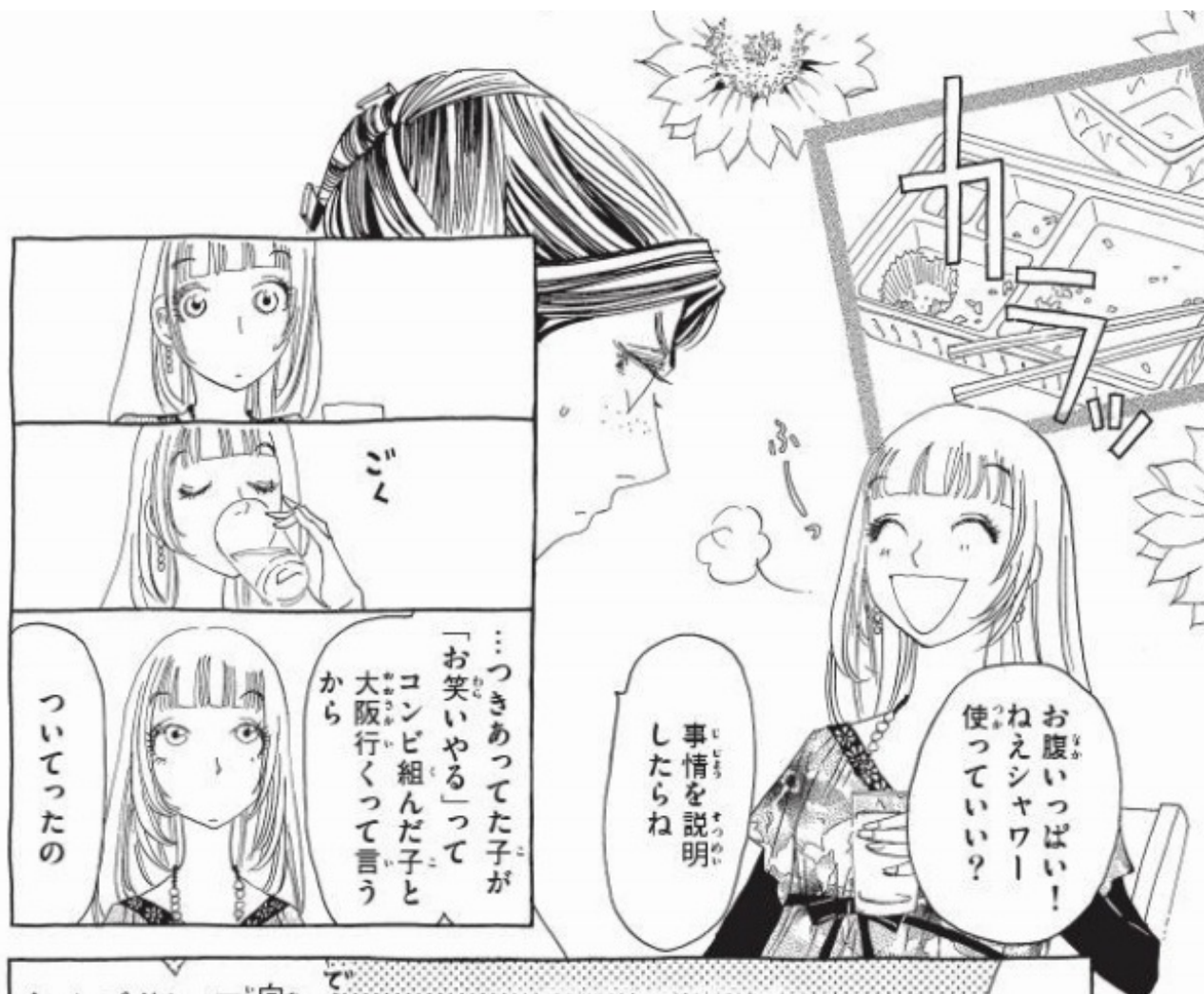
うわああ!!

アハハハ!

おーねーちゃん!
あたしよお
ルイ子!

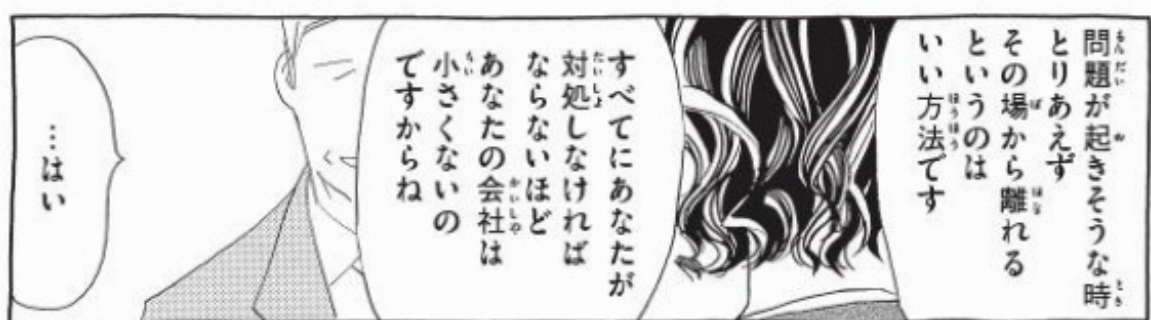
……
ルイ……
ちゃん?





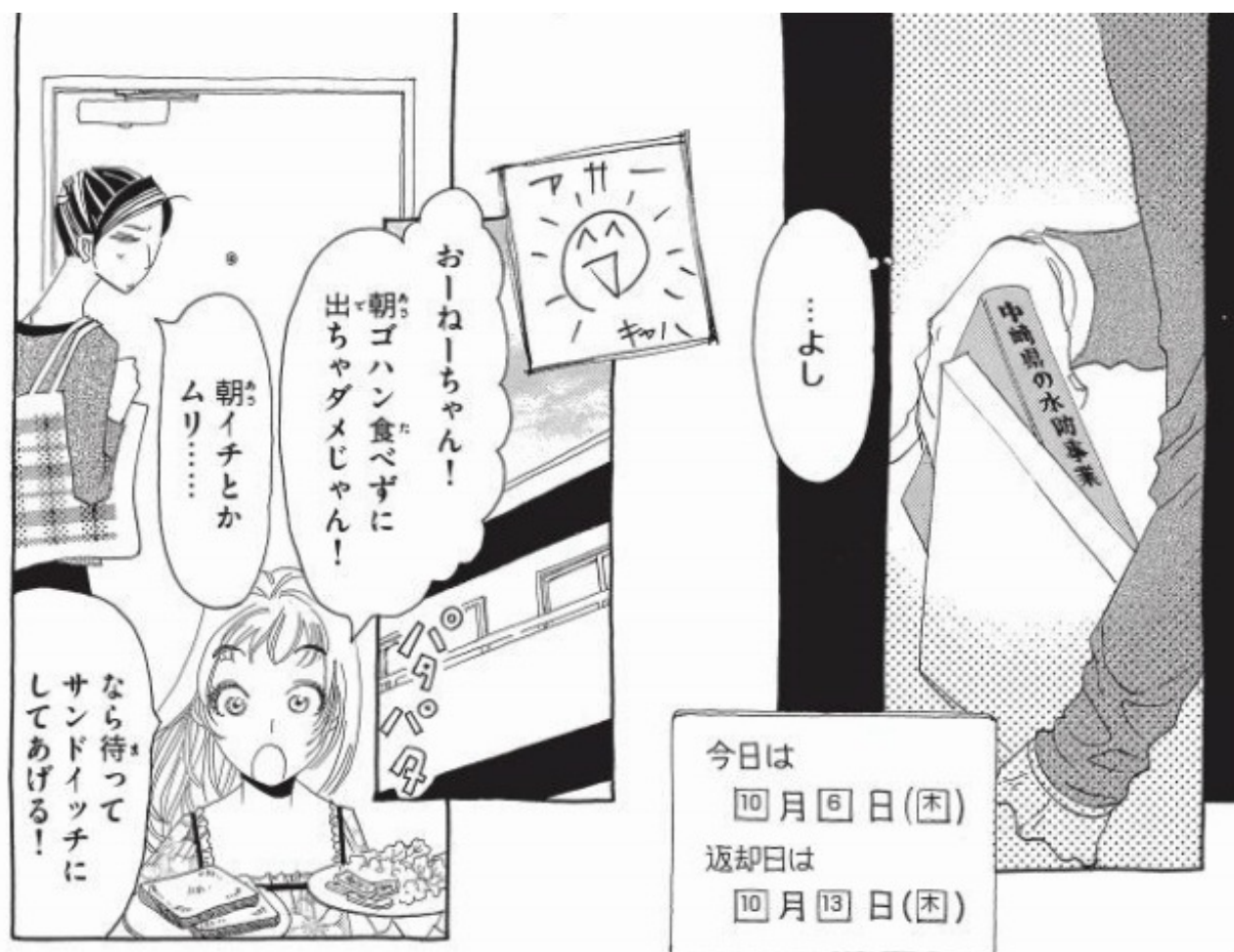




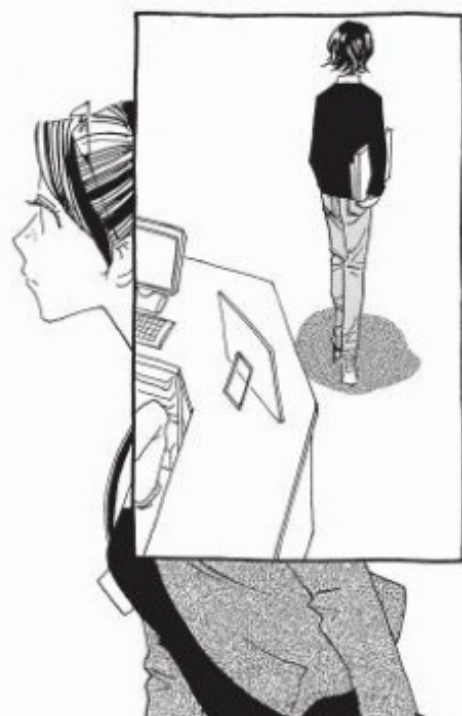
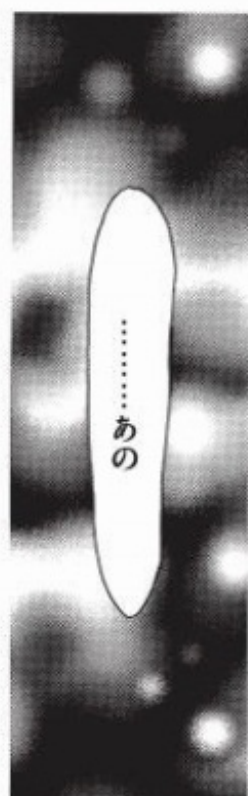








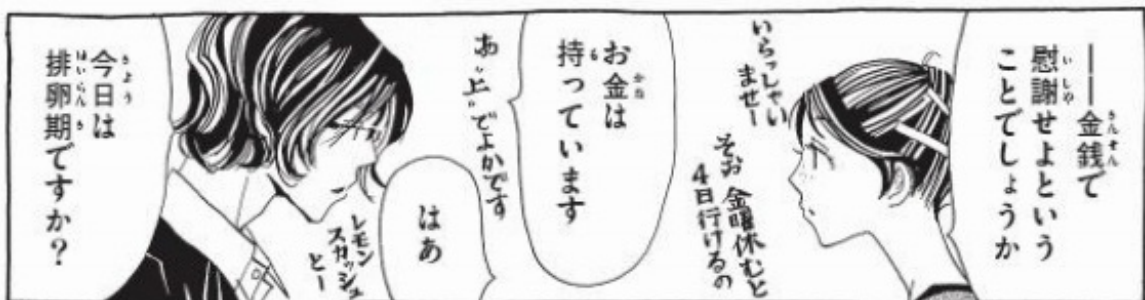


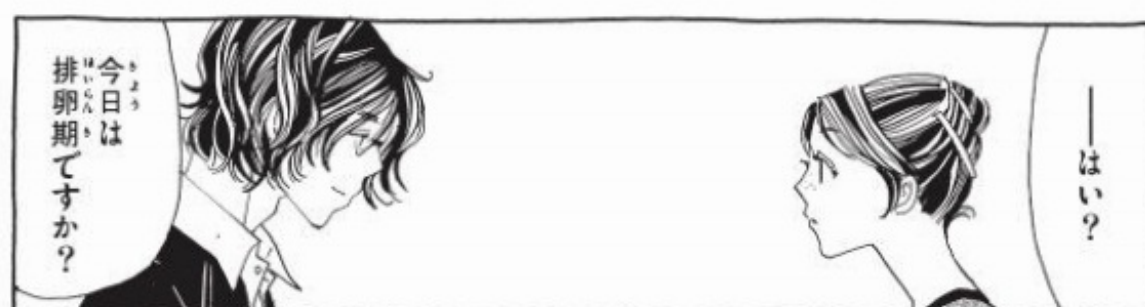


姉の結婚①











…ま
これで
チャラ
なら



…海？

…あ…
有線か…



家に寄って
着替え…

あつしまった
妹がいる…

コーヒーでも
飲みませんか



あせか
このじつは電話
出ません…

ガキヤ
ガキヤ

…いえ私は
もう出ます

まだ早いでしょう

早い分には

…まったく



ルイズ
ルイズ





続きは、是非単行本でお読みください！

『姉の結婚（一）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/4091338097>

※クリックするとamazonのサイトに飛びます。

西炯子『姉の結婚（一）』オトナ女子読書会レポート＆第１話無料試し読み

<http://p.booklog.jp/book/30037>

著者：フラワーコミックス

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/flower-comics/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/30037>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/30037>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.